

研究シーズ紹介 新しい発明や研究の一部を紹介します。



博物館でマーケティング?!

生物地球学部 生物地球学科 教授 石垣 忍

岡山理科大学はモンゴル科学アカデミーと共同でゴビ砂漠の恐竜化石を発掘しています。化石は地球が残した貴重な手紙のようなもので、それを慎重に解説し、人々に太古のメッセージを伝えるのが私たち古生物学者の仕事です。ところが私たち専門家と、一般の人との間には大きな谷があるといわれています。恐竜はとても人気のあるコンテンツですが、研究者の思うことと、一般の人の受け止め方はずいぶん違うのです。

たとえば、私は学生と「ティラノサウルスの注視率」の調査をしたことがあります。あのすごい骨格の前で5秒以上立ち止まる来場者の割合を調べたのです。結果は23%。予想を大きく下回りました。ほとんどの人は軽く見上げるだけで素通りしてい

たのです。私はショックを受けました。

そこで来場者に聞き取り調査を行うと、「骨格のどこを見たら良いの」とのこと。不満足のまま通り過ぎていることがわかりました。そこで私たちは別の博物館の展示を題材に、組上げ骨格の前に見どころを示すパネルを作るなどの簡単な工夫をしました。すると長く立ち止まる人の数は三倍に増えたのでした。

一昔前までは博物館でマーケティングなんてとんでもないと考えられていました。今は来場者と博物館のより良い関係を構築するためにマーケティングはなくてはならないものになっています。今年度末に、岡山理科大学には恐竜学博物館ができます。知的好奇心をはぐくみ、一緒に科学を楽しむ場にしたいと考えています。そう Enjoy Science! です。



ティラノサウルスの見どころを説明する本学学生



ゴビ砂漠での発掘風景。
モンゴルと日本の教員・学生と一緒に発掘